

令和 2 年度

学校自己評価表（計画）

学 校 運 営 計 画			
学校運営方針		○ 生徒が「挑戦」し、「友情」を育み、「感謝」の気持ちをもてるよう指導するとともに、生徒などが入学して良かったと思える学校運営に努める。 ○ 変化の激しい時代を生き抜くため、他者と協働し正解のない課題に対応できる力を身に付けさせるため、教育活動をとおして探究する力の育成に努める。	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標	
○成果 校長の運営方針に基づいて、各分掌・各学年・各学科・各教科の取り組みがより前進し、自己評価も総じて良い結果となった。 生徒の進路先は、大学等が53%、専門学校27%、就職19%であった。公務員については16年連続で2桁となる19名の合格者を出した。 生徒指導や学校行事等に組織的に取り組んだ。 ○課題 新しい教育課程の編成、いじめ対応やSNSの適正な利用、SOSの出し方教育、部活動や学校行事のさらなる充実に、すべての教職員が協働して取り組む。	授業内容の充実と学力向上	生徒の実態に合わせた授業の工夫・改善に取り組み、生徒の学習意欲を引き出すとともに、授業時間や家庭等における学習時間の確保により、学力の向上を図る。	
	全職員の協力による生徒指導体制の整備	全職員の共通理解のもと、組織的な生活指導、教育支援などを推進し、生徒の社会性及び自律性の育成に努める。	
	進路実現に向けた指導の充実	3年間の計画的なキャリア教育やきめ細かな個別面談などとおして、生徒一人ひとりが主体的に進路を選択し、進路実現を図るため、分掌と学年が連携して指導に当たる。	
	部活動や生徒会活動等の一層の活性化	部活動や生徒会活動のさらなる活性化を図るとともに、生徒の自主性や人間関係を築く力とリーダーシップを育成する。	
	各学科の教育目標に応じた指導の充実	学科の特色を踏まえた学習をとおして、簿記やIT、英語等における高度な資格取得や技能の習得を図り、将来、産業界や国際社会で活躍する人材や地域産業の担い手など、志を持った人材を育成する。	
安全安心な学校の環境づくり	いじめに関しては、早期発見・早期対応に取り組み、組織的な対応を進める。 生徒の個性に応じたきめ細かな対応に努め、安心して学校生活を送ることができる環境づくりを進める。		
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
授業内容の充実と学力向上	生徒の実態に合わせた授業の工夫・改善に取り組み、生徒の学習意欲を引き出すとともに、授業時間や家庭等における学習時間の確保により、学力の向上を図る。	○授業の工夫や改善を行い、生徒の学力向上を図る。	/
		○生徒に積極的な授業への参加を促す。	
		○単位履修に必要な授業時間を確保するとともに、自習時間の減少を図る。	
		○朝学習や小テスト、家庭学習の課題等を利用して、生徒に学習習慣を身に付けさせるように努める。	

全職員の協力による生徒指導体制の整備	全職員の共通理解のもと、組織的な生活指導、教育支援などを推進し、生徒の社会性及び自律性の育成に努める。	○挨拶、高校生らしい服装・頭髪、時間遵守等の基本的生活習慣の確立に努める。		
		○貴重品管理や私物の整理等、盗難防止に努める。		
		○職員間及び家庭や地域との情報共有に努め、緊密な連携を図る。		
進路実現に向けた指導の充実	3年間の計画的なキャリア教育やきめ細かな個別面談などとおして、生徒一人ひとりが主体的に進路を選択し、進路実現を図るため、分掌と学年が連携して指導に当たる。	○面談の実施や「進路の手引き」を活用しながら、組織的・継続的に進路指導を行う。		
		○「進学だより」の発行や進路講演会、説明会の実施、長期休業中の補習や模擬試験、小論文講座等を企画するなど、進学意識の啓発と学力向上に努める。		
		○職業に関する情報提供や職場見学等により職業観を育成し、企業やハローワークと連携しながら、生徒の就職支援の充実を図る。		
部活動や生徒会活動等の一層の活性化	部活動や生徒会活動のさらなる活性化を図るとともに、生徒の自主性や人間関係を築く力とリーダーシップを育成する。	○部活動の活性化により心身の健康と人格の形成を図る。		
		○生徒会活動の活性化や学校行事の充実を図り、生徒の自主性や望ましい人間関係づくりを支援する。		
各学科の教育目標に応じた指導の充実	学科の特色を踏まえた学習をとおして、簿記やIT、英語等における高度な資格取得や技能の習得を図り、将来、産業界や国際社会で活躍する人材や地域産業の担い手など、志を持った人材を育成する。	〈商業関連学科〉 ○生徒の商業教育への興味・関心を喚起するよう授業改善に努め、キャリア教育を意識した授業を実践する。		
		〈商業関連学科〉 ○各種大会や実習等への積極的な参加や高度な資格へチャレンジを促し、スペシャリストの育成を図る。		
		〈国際教養科〉 ○国際理解教育を充実させ生徒の進学希望達成を図る。		
		〈国際教養科〉 ○資格取得に挑戦させ英語運用力の養成を図る。		

安全安心な学校の環境づくり	いじめに関しては、早期発見・早期対応に取り組む、組織的な対応を進める。	○いじめに関するアンケートを年2回以上実施するとともに、生徒に対する個別面談を年2回以上実施し、いじめや生徒の悩みの早期の発見に努め、全職員で情報を共有し迅速な解決を図る。	総合評価
	生徒の個性に応じたきめ細かな対応に努め、安心して学校生活を送ることができる環境づくりを進める。	○課題を持つ生徒に対して、連携して教育支援体制を構築し、生徒の実情に合わせた実効的かつ有効な支援を行う。	
		○教職員の研修を実施し、教育支援の充実・改善を図る。	
成果			